



東京宝島
TOKYO
TREASURE ISLANDS



【総括レポート2019 | 式根島】東京宝島事業

東京の11の島々には、雄大な自然景観や魅力的な特産品、島ならではの独自の伝統・文化など、様々な宝物があります。2018年度に開始した「東京宝島事業」は、東京の島々が有するこれらの宝物を、島の住民が主体となって磨き上げ、広く発信していくことで、東京島しょ地域のブランド化を目指す取組です。

2018年度の大島・神津島・三宅島・八丈島の4島に続き、2019年度は利島・新島・式根島・御蔵島・青ヶ島・父島・母島の7島で現地の事業者等が参加し、島のブランド化に向けた議論を行う「島会議」を実施しました。

以下では、式根島における2019年度を取組を振り返ります。

<目次>

式根島の宝とブランド価値

式根島の象徴的顧客像（ペルソナ）

式根島のブランドコンセプト・取組アイデア

ブランディング報告会でのプレゼンテーション

2019年度 式根島を取組

参加者の声

式根島の宝とブランド価値

式根島の島会議は、まず島の地域資源を抽出するところから始まりました。式根島の地域資源は、「海中温泉」「海」「朝日と夕日」といった豊かな自然環境をはじめ、「人が親切」「子どもが元気」「優しい人が多い」などの人の魅力、さらには「住民同士の関係性が良い」「家賃が安い」という式根島特有の土地柄が挙げられました。



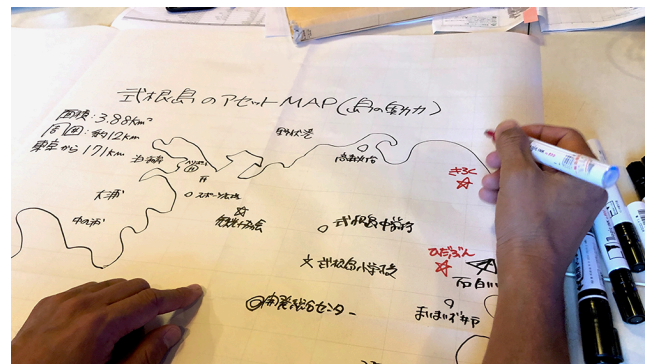
さらに、島の宝として「古き良き日本の文化、面影がある」があることを支持する声が多く、島のブランド価値は「『古き良き日本の島』がある」ことだと結論づけました。



議論の中では「島の将来を担う若者が少ない」といった「人」にまつわる内容に加えて、「創業する場所がない」といった声も挙がりました。そこで、「創業のチャンスを作る」「遊休不動産の活用」「何かをやるという人が集まれるようにシェアスペースを作る」というアイデアが交わされ、「チャンスがある島を作っていく」という目標が立てられました。

式根島の象徴的顧客像（ペルソナ）

式根島が目指すのは、島の宝に触れながらゆくゆくは移住を考えてくれるような、「将来のローカルヒーロー」を集めること。そのため、島に来てほしい「象徴的顧客像（ペルソナ）」は「ワーケーションを通して移住先を探している人」に決まりました。





東京宝島
TOKYO
TREASURE ISLANDS



その後行われたスタディツアーでは、ワーケーションのスペースづくりのヒントを求め、城下町という街並みを活かして、古い蔵をリノベーションしたシェアスペースを運営している茨城県結城市の「Coworking & Café yuinowa (ゆいのわ)」と、施設を通して街にコミュニティを生むことを目的に運営している世田谷区のコミュニティカフェ「ななつのこ」の2カ所を訪問。古き良き地域資源の活かし方や、まちづくりにおけるコミュニティスペースのあり方を学びました。



式根島のブランドコンセプト・取組アイデア

ここまでの議論を経て、式根島のブランドコンセプトを、「働く場所が、遊ぶ場所。新しい「なつかしい」をつくる島」と設定。

古き良き日本の島の原風景が残る式根島の魅力を活かし、仕事と遊びを両立させる新しい働き方「ワーケーション」を求める人と島をマッチングさせるため、「CoWorkation PROJECT」(※)と題した取組アイデアを計画。2020年4月をめぐりにエリアマネジメントを主務とする一般社団法人の立ち上げを予定しています。また、関係人口増加を目的に、空き家や空き店舗といった場の活用や、式根島の魅力を来島者に伝えながら島で仕事を作っていくためのアカデミーの開講を計画中です。

(※) CoWorkationとは、コワーキングとワーケーションの造語。仕事とパケーションを行える場を提供するアイデア。

働く場所が、遊ぶ場所。 新しい「なつかしい」をつくる島

働き方、休み方を変える。例えば、週末を、あるいは一週間を、

仕事とパケーションを両立させる「ワーケーション」。

そんな生活のソフトチェンジに絶好の島があります。

東京からジェット船で、3時間。古き良き時代の懐かしさも品格のあるたたずまい。

そこに息づく穏やかな暮らしに、新しい時代のワークスタイルが融合する島、式根島。

すぐそばには、紺碧の海と青い空、24時間フリーな温泉、緑豊かな大自然が待っています。

仕事に、生活に、本当に必要な情報は何か。

人生の大事な時間や価値を洗い直すには、いま島が必要です。

そんな思いを共にする人たちが島と一緒に、どんな新しい暮らし方や働き方がつくれるか。

さあ、住んでよし、働いてよしの式根島へ。東京と島のデュアルライフ、移住・定住、大歓迎。

式根島式、未来づくりに、あなたもご参加を。

ブランディング報告会でのプレゼンテーション

2020年2月18日に、東京・丸の内vacansにて東京宝島ブランディング報告会が開催されました。この中で、島会議参加者が本土の事業者に向け、ブランドコンセプトと取組アイデアのプレゼンテーションを行いました。

(ブランディング報告会のレポートは「こちら」)



プレゼンテーション後、地域事業のコンサルティングや地域への人材マッチング関連の企業など、式根島の取り組みに関心を持った様々な企業と具体的な意見交換が行われ、今後の取組アイデア具現化のきっかけ作りになりました。



東京宝島
TOKYO
TREASURE ISLANDS



2019年度 式根島の取組

2019年6月20日 第1回島会議 | 島の宝について検討
2019年7月8日 第3回東京宝島会議（全体会議） | スタディツアー、地域ブランドに関するトークセッション
2019年7月9日 第2回島会議 | スタディスター振り返り
2019年10月7日 第3回島会議 | 取組アイデアの検討
2019年11月25日 第4回東京宝島会議（全体会議） | ブランドコンセプト・取組アイデアの中間発表
2019年11月26日 第4回島会議 | スタディツアー
2019年12月16日 第5回島会議 | 取組アイデアのブラッシュアップ
2020年2月18日 ブランディング報告会 | プレゼンテーションを実施



本来持つ宝物をさらに磨き、島の外の人にとっても心地よい場所へ生まれ変わろうとしている式根島。その魅力をたくさんの人に知ってもらうため、東京宝島事業の取組は今後も続きます。

参加者の声

式根島の取組アイデアを考えるにあたって、様々な先進地視察に行けたことで、新たなヒントを得られたのは有意義な体験でした。島にローカルヒーローを呼び込むことを目的として、様々な取組アイデアを実行していきたいと思いますが、2020年度はまず組織化に向けた取組を進めていきます。スタートアップのための資金をどうするか、まだまだ課題もありますが、関係各所と連携しながら前進させていきたいです。（下井勝博さん 地域コーディネーター・新島村商工会）